

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、まだしばらくは残暑が続きます。台風による荒天にもお気をつけください。

## デイサービス八重桜本店

【奈良交通お笑い演芸同好会】



「コント、漫才、歌ネタ、落語、世の中には様々なお笑いが溢れています。この日は奈良交通お笑い演芸同好会に来ていただき、一席披露していただきました。まずは副会長、ピストン小林さんによる歌ネタコント。看護師のコスプレをした小林さんが懐かしの歌に合わせて皆さまを診察に回ります。「あなたは健康そのもの」「あなたも大丈夫」「あなたは大変、おめでた九か月です」その一言に周りは爆笑の嵐に。会場が温まったところで会長さんによる落語へ。「怖い話」で始まったオチが「子は良い話」で終わるなど、分かりやすくかつ、くすくす笑える話芸はお見事でした。ご利用者さまの皆さまもじっくり聞いておられ、ときにクスリとされ、思い思いに楽しんでおられました。

日頃、職員もマイクを持つ機会があります。しかし、やはりプロの技は一味違つと思わせてくれたお二人に心から拍手を送りたいです。

【夏祭り】

八重桜のイベントの中でも飛び切りの大イベント、今年もコロナによる制限が無いので盛りだくさんなプログラムで進めました。入口の風鈴にフロアの提灯や紅白幕、普段と違う色鮮やかな姿の職員。まず目から祭りの雰囲気を楽しんでいただくよう企画しました。

ゲームコーナーは金魚すくい、ピンボール、射的、ストラックアウトと種類豊富、全て職員の手作りゲームです。

ワイワイと楽しめる様子を、制作した職員も笑顔で見守っていました。お昼ご飯はから揚げにお好み焼きにおでんなどの屋台メニューで、「ビール飲みたい」との声もちらほら聞こえていました。

午後はいよいよ恒例の大抽選会で、目玉商品の一等と三等が最後まで出ない事態に。今年は残り物に福が宿る結果になりました。ゲストを迎えた盆踊りでは、歩ける方は職員の傍で、車いすの方は職員が押しながら皆さままで輪になって楽しく踊りました。職員が檯の上から生歌を披露するサプライズもあり、会場が文字通り一つになって、よき大団円となりました。



## 在宅で長く暮らすには 西 勝康

多くの高齢者は最期まで自宅で暮らしたいと考えています。しかし要介護の状況次第では老人ホームの入居を検討せざるを得ない場合があります。老人ホームへの入居理由に二つのパターンがあります。ご家族と同居されている場合、その同居される介護者が心身の限界を感じたというケース。例えば「親が一人でトイレに行けなくなる」という状態が入居を検討するポイントの一つです。

### 桜の広場

今の介護者は世代・性別を問わず仕事をもちている方が多く、仕事と介護の両立ができなくなり介護施設を検討することになります。しかし居宅サービスの訪問介護看護、デイサービスを組み合わせることで、在宅が可能になるでしょう。只し前提は重い認知症を患っていないということです。脳疾患などの病気がきっかけで身体に麻痺が残って動きづらくなっても意思の疎通ができ介護者の手を借りることが出来ればトイレなどの失敗もないでしょう。

もう一つのケースはシンプルに「一人暮らしが難しくなった」というケースです。例えば、外出したけれど二人で帰って来られなくなったり、火の始末等の認知症の周辺症状が現れたりすると一人では生活することが不可能になります。身体機能の障碍は介護保険サービスを上手に使うことで在宅生活を維持することが可能なことも多くあります。認知症が進んでしまうとそれが困難になってしまいます。

ですからいつまでも自宅で暮らしたければまず認知症にならないよう予防することです。「私はまだまだ大丈夫」と思う人も転ばぬ先の杖と考えて積極的に予防プログラムに参加されることをおすすめします。お問い合わせください。ばご説明致します。



## デイサービス八重桜 朱雀

### 【ボーズのコンサート】



この日は、レクリエーションの時間に特別ゲストとしてボーズさんにお越しいただきました。ボーズは二人組のグループで、アコースティックギターの素敵な音色と歌声で演奏していただきました。狩人の「あずさ二号」北島三郎の「北の漁場」坂本九の「幸せなら手をたたこう」舟木一夫「高校三年生」等、皆さまよく御存知の懐かしい曲を十曲以上演奏していただき、館内がとても良い雰囲気になりました。「懐かし」と一緒に口ずさむ方がおられたり、リズムに乗り拍手や踊られる方がおられたりと、とても盛り上がりました。アンコール曲谷村新司の「サライ」を最後に、踊って歌ってご利用者さまも職員もとても盛り上がり笑顔が絶えない空間になりました。素晴らしい演奏を提供していただき、とても感謝と感激でいっぱいです。今後是非とも、ボーズさんに来ていただけて喜びと笑顔の絶えない時間を提供していただければと思います。

### 【夏祭り】

今年も、朱雀館で大イベントの夏祭りが開催できてとても嬉しく思います。午前中は、三種類のお祭りのゲーム、射的、輪投げ、魚釣りに参加していただき、懐かしさも盛りだくさんでも積極的で楽しそうな笑顔でした。昼食は、焼きそば、唐揚げ、ぶっかけうどん、おにぎりをお出ししました。どれも美味しく召し上がられました。

午後からは盆踊り大会にも皆さま参加されて、身振り、手振り、と曲に合わせて元気に踊られました。また、職員の歌も聴いていただき盛り上がりしました。来年も、夏祭りで皆さまに素敵な笑顔で楽しい時間を過ごしていただけるように日々精進していきたいと思っております。



## デイサービス八重桜 押熊

### 【夏祭り】



今年も恒例の夏祭りの日がやってきました。前日から紅白の幕や提灯などを用意していると、ご利用者さまの方からは「お祭りはいつ?」「何をやるん?」「いつたお声が聞こえてきました。皆さまお祭りを心待ちにしていってほしいです。

当日は朝から射的や輪投げのゲームを楽しみ、千本引きでは「これかな?」「これでもない」と選び、引いた品物を「孫にあげようかな」と言いながら嬉しそうに見せてくださいました。お昼ご飯はおでんや焼きそば、たこ焼きなど、いつもは少食の方も「おいしい!」と嬉しそうに召し上がられています。久しぶりの焼きそばは「味の濃いのが好きやねん」とおっしゃっていました。午後からは抽選会を行いました。皆さま待ちに待った様子で、商品の番号を確認しながらボールを選ばれていました。ここ数年あまりできなかった皆さまでのカラオケもして、「楽しかったなあ」「次もおでんと焼きそばが食べたい」など、色々なお声を聞かせてくださいました。

### 【特大けん玉選手権】

職員の手作りによる特大けん玉を作り、今回レクリエーションとして初めて挑戦しました。手作りの為、何度も作り直してご利用者さまの方にも試作品に挑戦していただきながら、重りをつけたり、ひもの長さを調整しながら今回のチャレンジとなりました。

初めて挑戦された皆さまの方々は上手に球を入れることが出来ず、すぐに諦めてしまつ方や、入れるまで諦めずに挑戦し続ける方と様々でしたが、何よりも他の方が挑戦している時に皆さま集中してご覧になられ、応援してくださいました。応援の声でやる気を出して頑張つて球が入った時には、本人はもちろん周りの方々も一緒に喜んでいらっしゃいました。先日百歳を迎えられた方も挑戦され、成功された時には皆さま盛大な拍手で喜んでいらっしゃいました。





## デイサービス八重桜 平城

### 〔平城館夏祭り〕



今年もお祭りの季節がやって参りました。去年はコロナ禍の影響もあり、午前の部だけのお祭りでしたが、今年はコロナ対策には十分に気を付けて、午前の部と午後の部に分けて開催致しました。午前は出店を設えました。「射的」「輪投げ」「人形釣り」の店を各職員が開きご利用者さまに楽しんでいただきました。沢山の景品を用意しており、ご利用者さまも大変はしゃがれていました。午後からは、「スイカ割り」です。職員と協力して「よいしょっ！」とスイカを割ると大歓声が上がりました。祭りの最後は皆さまで作ったうちわを持って輪になって成坑節を踊ると、一か月前から体操の時間に毎日練習したかいあって、皆さま上手に踊っていました。ご利用者さまの良い笑顔があふれ今年のお祭りは大成功でした。ご利用者さまから有難うの言葉をいただけて感謝感謝です。

### 〔八重の家夏祭り〕

八重の家では恒例の一大イベントでもある「夏祭り」を開催致しました。昼食はレストランにてお祭りプレートを用意しました。唐揚げ・フランクフルト・焼きそば・たこ焼き・稲荷寿司とても豪華なプレートで、ご利用者さまも大変喜ばれておられました。お祭り会場には、この日のために皆さまと職員で作ったモニメントもたくさん飾り付けられ、お祭りの雰囲気が出て気持ちも高まりました。出店は輪投げ・射的・ヨーヨー釣りです。皆さまと職員の掛け合いも見られ、会場には笑い声が響きました。

祭りの最後は盆踊りをしました。皆さまも職員も入り乱れて楽しく踊りました。皆さまを楽しませたいという気持ち伝わったようで、皆さまから職員へたくさん感謝のお言葉をいただきました。勿論、職員も心から楽しませてもらいましたよ。また次の行事も一緒に楽しみましょうね。



## デイサービス八重桜 西奈良

### 〔夏祭り〕



夏祭りが今年もやってきました。一年で一番大きなイベントと言っても過言ではありません。「今年は何んな事をするんだろう」と開催される前からワクワクされている方が大勢いらっしゃいました。ゲームコーナーでは射的や金魚すくいなどの定番のものを楽しんでいただき、フロアではジュースやポップコーンを頼張りながら賑やかな様子でした。お昼前からは職員による「マッケンサンバ」と「島人ぬ宝」を披露。とても大きな拍手をいただきました。昼からはこれまた夏の定番のスイカ割りをしました。こちらは何度も歓声が響くような大盛り上がり。おやつは御座候を召し上がっていただき、今年の夏祭りは終了。翌日にも「昨日は楽しかった」と皆さまおっしゃり、好評をいただきました。

### 〔琉球舞踊〕

真夏の焼けつくような暑さが続きます。熱中症や脱水には気をつけなさいといかない季節ですね。この日は、琉球舞踊ボランティアさんが来てくださいました。しっかりと小学生の女の子と元氣いっばいな四歳の男の子も来てくださり、ご利用者さまも職員も二人の可愛さに目元が下がり、口元も緩み、一つひとつの動きに「可愛い」「カンパレー」と声援が入ります。

琉球舞踊は、華やかな衣装に目を奪われます。扇子や唐団扇を使ってしなやかな動きをされたり、手足を大きく動かされたりと本当に一曲ごとに雰囲気が変わります。踊りと共に民謡や、「花」「島唄」等の耳に慣れ親しんだ歌を十曲程披露してくださいました。琉球舞踊に必要な手の動きも教えてくださり、ご利用者さまと一緒に琉球舞踊を楽しみ、とても充実した時間でした。





笑顔

紺谷 友幸



僕は奈良に来て約十二年、介護職になって約十二年になります。最初の二、三年は生活と仕事に追われる毎日で、食べるのが唯一の楽しみでした。その後は友達もでき、趣味の釣りやドライブも行くようになり、今では生活や仕事にも少し余裕が出てきたような気がします。その余裕を仕事に活かしていけたらいいなと思っております。はじめはあれもこれもしなければいけないと思いつまみ、スピード重視の仕事になりがちでした。自分自身に余裕が持てるようになってからは、介助は協力的にサポートすることに重点をおくようになりました。介助時間が増えるのかなと思っていました。同じ時間できれいな介助ができるようになりました。お互いに息が合うコツを掴むとお互いどんどんできることが増えていきました。「ありがとう」の声をもらえる一日中、「笑顔」で働けるようになりました。特殊なことではできませんが、ご利用者さまを和やかに、笑顔にしていけるよう、これからは頑張っていきたいと思えます。

俳句教室発表句(敬称を略します)

台風よ 何処から来るの やめてくれ 森 田 美巴子
心からの叫び、共感しかないです
台風や テレビの中の 風強し 磯 野 弘 子
テレビの映像を見るたびに天災は怖いなど 思います
今日は いやな日 敬老の日 岩 崎 則 子
いつまでもお若いですね
山みどり 今の幸せ 敬老の日よ 山 口 計 子
今年も敬わせてもらいます
秋彼岸 参れぬ墓に 詫びの手を 津 田 千代子
行きたいけど行けない想いが響きます
れんこんが 秋の味覚を 決めている
美味しいレンコンを食べて秋をスタートしたいものです 清 水 善 治

こころの遊歩道

水よく船をうかべ、水よく船を覆す。ただこのことを、よく心得られよ。

徳川 家康

八重の家通信 36

カフェ八重の家

カフェでは、週替わりの献立で、お食事を提供させていただきます。

介護食士の資格を持つ森村さんが、高齢者の皆さまが安心して召し上がっていただけるように工夫しています。例えば、ゴボウを使って料理をする場合には、圧力鍋でゴボウを柔らかくして調理しています。食されたご利用者さまからは、「ゴボウが柔らかくて、美味しく食べられてよかったわ。」と好評です。

また、パブリカと牛肉の炒め物の場合、パブリカの硬い皮をバーナーであぶってから調理するなど、手間を加えてからの提供です。

人気があるのは、天ぷら盛り合わせ。揚げたての天ぷらを召し上がっていただきました。「家では、なかなか面倒でできやしない。まして、揚げたてを食べるなんてお店に行った時以来だわ。今日もとても美味しくいただきました。ごちそうさま。」手作りのデザートも好評です。「今日のわらび餅、トロトロで美味しかった。どうやって作ったの?」「お豆腐のプリンは、どうやって作ったらできるの?作り方を教えてもらえないかしら?」作り方のレシピのプリントをお土産にして、カフェを後にされています。



認知症予防あれこれ ⑤

認知症予防作業療法効果の実感②

藤村 俊城

前回に続き、認知症予防特別プログラムの反響のお声をご紹介します。

八十代と九十代の男性の奥様「毎晩眠らずにごそそしていたけど、夜に眠ってくれるようになった」「日中寝てばかりだったけど、昼寝くらいで起きているようになった」

九十代女性の娘様「自宅ではいつもポット座っていたが、顔色が良くなり本や雑誌を読むようになった」

八十代女性の娘様「十年以上趣味の俳句を作っていなかったけど再開した」

七十代女性本人「工作が好きだったけど、脳梗塞を機にやらなくなりました。でもここに来るようになってまたやってみよう」と再開した。作業療法では上手下手は関係なく「している・していない」を大事にしており、認知症作業療法において生活の中で本人に意欲が戻ることは嬉しいことです。残りのお声は次回に。